

近世仏教の教説と教化

日本仏教史研究叢書

せりぐち まゆこ
芹口真結子著 ▼46判・上製カバ！296頁・本体三、五〇〇円十税

2019年6月刊行



近世東本願寺教団の資料をもとに、江戸時代の教学論争の展開と、教説の流通の様相を検討して、近世宗教が持つ特質を解明する。

【目次】

序 章

近世宗教史研究の成果と課題

- 第一節 近世仏教史研究の展開
- 第二節 新たな研究視座の登場と分析の多角化
- 第三節 課題と方法
- 第四節 本書の構成 ほか

第一部 教学論争と教学統制

第一章 羽州公蔵の事件と教学統制

- 第一節 公蔵事件の展開
- 第二節 公蔵の教説の特質
- 第三節 公蔵の「正統」化論理
- 第四節 公蔵教説の影響 ほか

第二章 教学論争と藩権

- 第一節 尾張五僧の事件を事例に――
- 第二節 尾張五僧の事件の展開過程
寺法と国法の相剋 ほか

第三章 教学論争と民衆教化

- 第一節 加賀安心争論を事例に――
- 第二節 加賀安心争論の展開
対立の具体相
- 第三節 争論解決への対応とその特徴 ほか

第二部 教化の担い手と取り締まり

第四章 教化をめぐる取り締まりの構造と展開

- 第一節 本山の教化規制の特徴
- 第二節 加賀藩領における教化の管理・規制
- 第三節 藩寺社奉行所による取り締まり強化の背景 ほか

第五章 〈俗人〉の教化と真宗教団

- 第一節 久保田城下の真宗寺院と清次郎一件
- 第二節 清次郎一件の処理
- 第三節 民衆の教化活動と社会的背景 ほか

第三部 文字化された教え

第六章 近世の講録流通

- 第一節 異安心取調べ関係記録の伝播と受容
――公蔵事件を例に――
- 第二節 講録流通の様相 ほか

第七章 問答体講録について

- 第一節 問答体講録と示談録
- 第二節 示談録の世界
- 第三節 問答体講録の成立・流布の背景 ほか

終 章 成果と課題

- 第一節 本書の成果
- 第二節 展望と今後の課題 ほか

◆著者略歴

一九八八年埼玉県生まれ。二〇一七年一橋大学大学院社会学研究科総合社会科学専攻博士後期課程修了。二〇一九年千葉県立文書館嘱託職員着任、現在に至る。博士（社会学・一橋大学）。論文に「近世真宗教団と藩権力―十九世紀初頭の異安心事件を事例に―」（『史学雑誌』二二三八、二〇一四年）、「一九世紀初頭における〈俗人〉の教化活動と真宗教団」（『民衆史研究』九二二二〇一六年）など。

注文書	
(書店印)	
ご担当	様 冊
法藏館 本体三、五〇〇円十税	
芹口真結子著	
近世仏教の教説と教化	
日本仏教史研究叢書	
ISBN:978-4-8318-6044-6 C1321	
お名前	お電話
住所	

ご注文はFAX:075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

仏教・日本近世史